

秋田林業大学校の取組状況について

1 研修のねらい

全国一の資源量を誇る本県のスギ人工林は本格的な利用期を迎えており、今後増加する木材生産に対応していくためには、林内路網の整備や高性能林業機械の導入を促進し、低コスト生産から木材販売・利用をマネジメントできる技術者が必要となっている。しかし、本県の林業従事者は高齢化が進み、特に林業の将来を担う若い人材の不足が大きな課題となっている。このため、平成27年度から秋田林業大学校を開講し、5年目を迎え、民間と行政が一体となった「オール秋田」による指導体制で、将来の秋田を担う若い林業技術者を養成している。

2 研修概要

(1) 研修生の現況

第4期生（平成30年度入構） 16名（男子15名、女子1名）

第5期生（平成31年度入構） 15名（男子15名、女子1名）

(2) 研修カリキュラム

① 1年生

・研修時限：1,301時限／年

・研修内容：講義426時限、実習・資格講習875時限

・インターンシップ研修34日間

② 2年生

・研修時限：1,316時限／年

・研修内容：講義353時限、実習・資格講習963時限

・インターンシップ研修 52日間

③ 研修テーマ（科目）

○森林・林業の知識と経営感覚の習得

（林業・木材産業の基礎／森林の生態／森林機能保全／林業マネジメント）

○森林の造成・生産・利用の技術習得

（森林施業／森林調査／森林病虫害／木材加工・流通／森林測量／林業機械基礎／林業機械総合実践／林業機械等資格取得／労働安全衛生）

○資質を高めるスキルアップ研修

（インターンシップ／総合講座）

3 研修支援体制

民間と行政が一体となった研修サポート体制を確立し、現場で生かせる実践的かつ専門的な知識や技術を習得させる。

(1) 秋田県林業技術者養成協議会

委員：林業・木材産業関係団体、東北森林管理局、教育機関、県関係機関

内容：研修方針の検討、実践に役立つカリキュラムの検討等

(2) 秋田林業大学校サポートチーム

構成員：林業・木材産業等分野9団体、林業機械分野9社

内容：専門分野における講師派遣、実習フィールドの提供、インターンシップの受入等

4 修了生の就職状況

これまでに研修を修了したのは、第1期生から第4期生までの66名となっている。このうち女性5名を含む65名が県内の林業関係企業へ就職し、平成30年度に研修修了した1名が県立大学に進学している。研修終了生の今後の活躍が期待される。

【就職先の内訳】

・森林組合	24名	
・林業会社	28名	
・木材加工会社	10名	
・住宅資材総合商社	3名	
・大学進学	1名	計66名



森林測量実習



伐採実技研修